

「地域協育ネット」にかかわっている人の声

ふるさとに誇りがもてる子どもたちを！！

美和町地域協育ネット協議会 会長 河田 龍夫

美和町地域協育ネット協議会は、美和中学校の学校運営協議会を母体として、2小学校・1中学校・1高等学校で組織しています。ふれあい交流会、県内外から一流アスリートを招いての夢プロジェクト（スポーツ教室、「熟議」、講演会など）、美和町ウォーキング、ノーテレビ・ノーゲームデーなど子どもたちが楽しんで取り組める活動を通して、保護者や地域との密接な関係を築いています。また、生徒会を中心に、生徒が主体的に企画・運営する機会を増やしています。子どもたちと保護者、地域が一体となり、自分たちが育った町に誇りをもち、将来ぜひ美和町に帰ってきたいと思う心を育てていきたいと思ひます。



たくさんの笑顔が地域中にあふれるように

平生町地域協育ネット 統括コーディネーター 川原 美幸

「平生町地域協育ネット」のコーディネーターとして活動を始めてからはや7年。初めは何をすればよいのか見当もつかなかったので、「研修会で勉強してきたことを一つ実践してみよう」ということから始めました。それからも「毎年一つは必ず新しい取組をしよう」と課題をもって活動しています。マナーでは自分にも学校にも、地域社会にも新しい取組のアイデアを生む土壌ができません。常によりよい取組を求めていく姿勢が発展を生むのだと思っています。成果が表れ、皆さんの笑顔に触れたとき「よかった、また頑張ろう」という気持ちになり、それが私の原動力となっています。今後もたくさんの笑顔が地域中にあふれるように、努力していきたいです。



子どもたちは『地域の宝』

上関町地域協育ネット 統括コーディネーター 岩木 和美

高齢化率53%の上関町では、子どもたちは『地域の宝』です。しかし、「子どもたちの声を聞くことがなくなって寂しい」と言われる地区もあります。このような中、「地域協育ネット」では、子どもたちの様々な活動の支援に地域の住民・団体との橋渡しを積極的に行っています。特に高齢者の方とのふれあいの中では、「優しさ」「思いやり」の気持ちを自然に表現している子どもたちの姿を見ることがあります。参加された方々も「元気になった。楽しかったよ」と毎回喜んでいただいています。これからも、様々な人とのふれあいを通して「地域の子もは、地域で育てる」という意識が町全体に広がるように取り組みたいと思っています。



帰れる場所そして笑顔になれる場所づくり

下関市立誠意小学校 PTA 後藤 良江

私が中学校PTA役員として活動していた6年前のこと。私は「子どもたちと地域の人が笑顔になれる場所をつくりたい」という思いをもちました。そして仲間を集め、「ふるさと下関協育ネット“HoMeS”」を立ち上げました。今では絆づくり事業と学力向上事業に取り組む中で、たくさんの地域の人や卒業生がボランティアとして参加してくれています。ここで大切になってくることは、子どもを中心に置き、学校と地域、家庭がバランスよくつながることです。昼休みの児童生徒とのふれあいや地域行事の中で、一つでも多く笑顔の花が咲くようにコーディネーターとして、そして一人の保護者として何ができるか考えながら取り組んでいるところです。



「地域協育ネット」のさらなる充実をめざして

萩市立萩東中学校 校長 池田 廣司

萩東中学校区では、平成 24 年度から、五つの保育所、二つの幼稚園、三つの小学校との「タテ」の連携と、退職校長会、保護司会、民生委員児童委員協議会などの関係機関との「ヨコ」の連携を図る「地域協育ネット（夏柑ネット）」を組織しています。今年度の共通テーマは「自ら学ぶ子」とし、校区の子どもたちの 15 年間の育ちや学びの連続性を意識した様々な取組を行っています。こうした中、「地域協育ネット」の中心は「小中連携」とし、学校教育の中で共通取組事項を決めて教育活動を展開しています。今後は、各校に設置されている学校運営協議会の中で小中連携の在り方を「熟議」し、9 か年の確かな学びの継続をめざしていきます。



より豊かな教育環境の創造のために

光市立浅江中学校 校長 伊藤 幸子

本校では、今年度、地域の方々とともに地域課題について学習し、生徒による「光市活性化プラン」の作成や、認知症声かけ訓練、高齢者の方を対象とした弁当配達などの「地域貢献活動」に取り組んできました。また、地域の協力の下で、定期的な職場体験「あさなえワークス」を実施するとともに、地域のホームページ「虹ヶ浜美術館」の制作へ参画する機会をいただきました。人・もの・こと・情報といった地域資源は、学校教育とうまく結びつくことで、より豊かな教育環境の創造につながり、学校だけでは困難な多くの活動が可能となります。学校にとって「地域協育ネット」とは、まさにそうした環境を生み出すための仕掛けと言えるのではないのでしょうか。



一教諭として、校内コーディネーターとして

田布施町立田布施中学校 教諭 市川 正宏

「田布施町地域協育ネット」の取組は、学校と地域の方々との深い結びつきによって支えられています。昨年度まで町教委で社会教育主事として勤めた経験とネットワークを生かし、私は校内コーディネーターとして、学校支援活動の協力のお願いや小学校で行われる放課後子ども教室、地域行事への中学生派遣等にかかわっています。平成 27 年度から田布施中学校はコミュニティ・スクールをスタートさせます。コミュニティ・スクールや「地域協育ネット」の取組を通して、生まれ育った地域に誇りをもてる子どもたちを地域ぐるみで育み、保護者や地域の方々と子どもたちが、ともに成長できる取組の輪を町中に広げていきたいと思えます。



アンテナの感度を高めて～保健室から発信～

柳井市立柳井南小学校 養護教諭 西村 富士子

日々、『学校・家庭・地域』の連携に役立つ保健室をめざして取り組む中で、特に子どもたちの生活基盤である『家庭』に寄り添うことの重要性を痛感しています。今回の家庭教育アドバイザー養成講座は、「知りたい！聞きたい！」内容で、講義や演習、視察や体験等から、家庭を取り巻く地域のネットワークを学ぶことができ、とても刺激を受けました。さらに、県内で活躍されている方と親交を深めるとともに、新たな関係づくりの糸口を得ることもできました。今後は、幅広い情報収集能力、つまり感度の良いアンテナを持ち続けられるよう研鑽を重ね、得た情報を基に、学校から家庭や地域へ効果的につないでいき、子どもたちの健やかな自立へ結びつくように全力で向き合いたいと思えます。



『絆きずなづくり』

萩市立椿東小学校 事務主任 上領 由紀子



4月から、コミュニティ・スクールに係る文部科学省委託事業研究指定校の加配事務職員となりました。そこで、本校のテーマ「地域とともにある学校、活力ある地域づくりへの貢献」に向けて『地域協育ネット』コーディネーター養成講座で学びつつ、学習活動における教職員のニーズに合わせた支援や地域ボランティアの方々に協力をお願いを行ってきました。何よりも嬉しいのは、活動後に笑顔で、「楽しかった。また呼んでね」の言葉を添えて、支援者の皆さんが帰られることです。この積み重ねが、支援の輪として人から人へと広がっていきます。学校・地域で過ごす子どもに心を寄せて、共に考え協働する輪が少しずつ広がっていくよう、これからも、『絆きずなづくり』に努めていきます。

よい地域は、よい子ども よい人を育てる

井関にこにこクラブ 主任指導員 上野 敦子



「今年も生重幸恵先生の講義が聴けるかな〜」などと、毎年楽しみながら「地域協育ネットコーディネーター養成講座」を受講しています。今では児童保育の仕事にも学校評議員としても自分にとって必要な研修です。最新の情報がわかり、現場ですぐ役に立つ講義や現地視察など、さまざまなプログラムは地域でのネットワークづくりに大いに役立っています。県内の子育て支援にかかわっておられる方々との交流は、「誰かがやってくれる」という受け身から一歩踏み出す後押しとなっています。子どもの成長に関わることで大人もパワーをもらっているのです。

小学校区から中学校区全体の活性化へ

放課後子ども教室コーディネーター 谷野 正昭



福川地区において、放課後子ども教室は学校・家庭・地域が連携する一つのきっかけとなっています。教室を小学校区で実施することで、指導員と教員との間に絆きずなが生まれ、その絆きずなは学校運営協議会を通じて家庭、地域にも広がりました。現在は、学校運営協議会から地域に対してノーゲームデーなどの様々な事業へ参加要請が行われ、学校・家庭・地域が一体となった活動が実行に移されようとしています。ここからは「地域協育ネット」の出番です。各学校区の活動の情報交換や、地域全体での新たな人材の掘り起こしなど、小学校区を越えた活動が求められています。地域と地域とを結び、新たなネットワークの構築に向けて全力で取り組んでいきたいと思ひます。

すべての人が主役！笑顔あふれる油谷のまちに

油谷中央公民館 社会教育指導員 田村 洋子



公民館は今、生涯学習の拠点として、また地域づくりの拠点としても機能することが求められています。「油谷地域協育ネット」の活動は、公民館と学校が密接に連携しながら地域総がかりで子どもを育てる取組です。また、この取組により、住民同士の交流が深まり、地域がより活性化していくことも期待しています。地域に愛されながら育った子どもたちは、大人に混じって意見を述べ、今度は自分たちが地域をつくることを意識して活動するようになり、「油谷地域協育ネット」の発展につながっています。

これからも「おしかけふれあい塾」の充実とともに、学校・教師の力+地域の力=120%で「油谷地域協育ネット」を推進していきたいと思ひています。